

MJOT 会報

—着任の挨拶—

在ハンガリー日本国大使館
広報文化班・経済班
二等書記官 白壁 角崇

去る5月27日に、在ハンガリー日本国大使館に着任しました白壁角崇（しらかべ すみたか）と申します。これから様々な場面でお世話になることがあるかと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

気が付きますと、ハンガリーに来てから既に3ヶ月が経とうとしており、このままあつという間に何年も過ぎてしまうのではないかと少々不安にも感じております。



ハンガリーに赴任する以前は、総務省において、主に次世代携帯電話の導入や携帯電話事業者の新規参入、これらに関する法令の改正を担当しておりました。これまで私が日常よく耳にするキーワードといえば、携帯電話、地デジ、ワンセグといった情報通信に関するものばかりでした。それがハンガリーに到着した翌日には、早速スピーチコンテストの実行委員会に参加させていただき、7月には日本語キャンプにもお邪魔させていただき、今ではすっかり日本語教育、日本文化、留学生といったキーワードに浸かっています。

先日、仕事をしていて、ふと自分自身の中学生時代を思い出す機会がありました。私が中学生だった頃、ある日突然、学校にカナダ人の英語の先生が赴任してきました。それまで私の英語の先生といえば、広島出身でなぜか教える英語も広島なまり。「ええか、ここはヒャブ (have) じゃけえ。」と言われ、発音練習もみんなで声を合わせて、なぜか「ヒャブ」。そんな中、カナダ人の先生の登場によって、校内には生の英語が響き渡り、その先生が帰国した後も、校内にはその余韻が残っているように感じました。今回着任して初めて、その先生が日本政府のJETプログラムというもので派遣されてきていたのだと分かりましたが、当時中学生だった私にとっては、そんなことは関係なく、とにかく新鮮な生の英語に触れ、英語に興味を持つきっかけになったという記憶だけが残っています。

ハンガリーで日本語を勉強している学生などに会うたびに感じることは、とにかく日本語や日本文化を少しでも身に付けようと皆が必死に毎日勉強しているということです。中学生の頃の私もそうだったように、今の彼らにとって重要なことは、生の日本人や日本をよく知るハンガリー人の先生方になるべく多く接し、刺激を受け、日本を肌で感じるのだと思います。私にとっては、皆様のご協力を賜りながら、そういった機会をできる限り多く提供することが最大の使命であると考えております。少しでも多くのハンガリーの方々に日本に対する興味を持っていただき、日本とハンガリーの相互理解の促進に寄与できるよう努力していく所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

—いろいろな教師会—

国際交流基金ブダペスト日本文化センター

福島 青史



今月、任期を終了し帰国しました。昨日、東京での仮の宿を決めて、今、新宿の喫茶店でこの原稿を書いています。夏の炎天下、ひげ面でキャリーをひきながら、新宿の街をさまよっていると、「住所不定・無職」を絵に描いたような姿になります。ただ、三年に一回、すべてをゼロにして次の環境に臨むというのがここ数年のスタイルで、「住所不定・無職」は私の原点となっています。この地点で自分が持っている知識や経験を点検して、足りないものは足し、いらぬものは捨て、わからないものはそのまま余白として残しておきます。余白とは知識では得られず、多くは仕事をする環境の中で回答が見つかる類の設定問です。ハンガリーに赴任する時も多くの余白を持って臨みましたが、いろいろな発見がありました。ハンガリーの任期中で学んだことの一つは、「教師会のあり方」でした。MJOTのおかげで「教師会」の定義により多様な見方ができるようになりました。

私が今までいた国・地域では「教師会活動」というものは基金専門家の身辺で生じる活動に連動するものでした。そもそも「教師会」という概念自体が現地に馴染まないようなところが多かったので、「教師会活動とは〇〇あるべし」というものは基金専門家が身を持って示す必要もありました。ですから、ハンガリーに来るまでは「教師会活動」の際は常にその中心部に位置取り、表に出たり裏に回ったりして働きました。一方で MJOT は自立した組織で基金からもその独立性を保っています。この事実は MJOT のみなさんにとっては当たり前のことかもしれませんが、いつも教師会活動の中核を担って働いてきた私には驚きでした。最初は「えっ？俺、仕事なくていいの？」と思ったものです。

しかし、これは新しい「余白」だったのです。私の余白には「教師会(内)でどのような役割を担うか」というものはありましたが、「(自立した)教師会とどのような協力体制をとるか」という疑問は実体験として持ち合わせていませんでした。ハンガリーでは「教師会支援」というより「教師会とのパートナーシップ」という概念が必要だったのです。

このように当たり前のことに気づくまでに時間がかかる性分ですので、皆さんのお役にたてたか、自信がありません。しかし、私は多くのことを学ばせていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。今後もいろいろな余白を埋めつつ、また、新たな余白を作りつつ、活動していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



二回日本語キャンプに参加して

リツイシャーク・ヴィクトーリア

7月12日～16日に仏門大学でJFB・MJOT共催の日本語キャンプが行われた。第二回目のキャンプには39人が参加したが、ハンガリー人だけではなく、12人の外国人も一週間ハンガリーで日本語を勉強して、日本文化を身につけた。

キャンプ期間中、日本語の授業は8時間あり、学生は4つのクラスに分かれて勉強した。私はAクラスの担当として初級日本語を教えた。基本的に平仮名・片仮名・簡単な日本語を教えることだったが、最終日に学生に「私の一日」の発表をさせることを目標にした。しかし、私は初日にこの目標のことでとても緊張した。果たして学生は最終日の金曜日に日本語で発表できるか疑問に思った。高校で「私の一日」を発表するのに2～3ヶ月の勉強が必要である。でも、学生はこの発表をしようと頑張り、平仮名・片仮名・形容詞と動詞と助詞の使い方を勉強し、なんとかみんな発表が出来た。ここまでできれば、これからの日本語学習も簡単に進み続けられると思う。

成功への道は大変な五日間だったが、この成功には今年6月に出版された「平仮名・片仮名練習帳」が非常に役立った。この練習帳はMJOTの会員によって作成されたもので、平仮名・片仮名だけでなく、簡単な文法の説明も含んでいたからだ。

キャンプでは学生は日本語だけでなく、お寿司の作り方も習得したし、それに書道と座禅も体験した。正直に言うと、私はお寿司が下手なので、お寿司のクラスの時、私も注意してメモをした。本当に参考になった。学生は自分で作ったお寿司が食べられたので、とても嬉しそうだった。しかし、学生にとって一番好きな昼食はカレーライスだった。2～3回食べた人もいた。水曜日の国際交流パーティーも楽しかった。皆ほどの料理を初めて食べたらいいか、分からなかった。5～6種類もの料理があったからである。



「できた！」

学生はお寿司の道具と材料を午後の日本屋で買うことができた。私はカレーライスが大好きなので、カレーをたくさん買った。これ以外にも日本の雑貨・教科書・学用品・漫画が売られた。また、その隣では学生は着付を体験し、日本の手芸品を作った。日本の携帯電話のアクセサリ作りが一番人気があった。作った後でみんなは嬉しそうにニコニコし、携帯電話を私達に見せてくれた。



「書道は楽しい！」

全体として、第二回目の日本語キャンプは成功したと思う。雰囲気がとても良かったので、私はこの一週間が仕事としてだけでなく、楽しかった時間としても心に残った。来年も日本語キャンプで教えられることを望んでいる。



第二回 国際日本語キャンプ 2010

松浦依子

2009年に引き続き、今年の夏も法門仏教大学にて「日本語キャンプ」が行われました。この度、講師に初チャレンジをした松浦依子(旧姓:角田)が、第二回「日本語キャンプ」の報告をいたします。

MJOTと国際交流基金ブダペストの共催により、2010年7月12日(月)から16日(金)の五日間、法門仏教大学にて第二回「日本語キャンプ」が行われました。今回は、イタリアとクロアチアからの学習者、さらにポーランドから特別講師を迎えての国際色豊かな日本語キャンプとなりました。

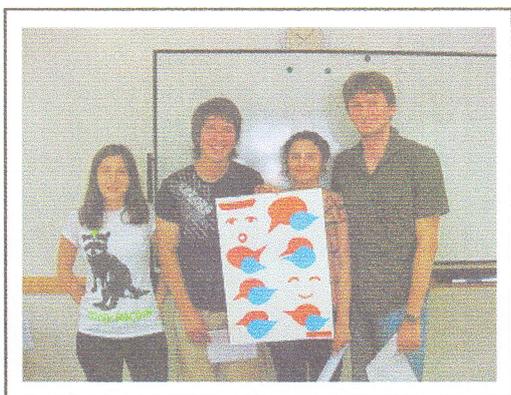
＜キャンプの基本的なスケジュール＞

- ・日本語クラス(語学活動)90分×8コマ
- ・「書道」「料理」(文化活動)90分×4コマ
- ・お楽しみ「着付け」「買い物」「観光」など

写真1. Cクラスのみなさん→



私はCクラスの日本語クラスを担当させていただきました。クロアチアからの学生さん(4名)を含め、総勢16名のクラスでしたが、実は3年ぶりの日本語クラス!!正直、初日は非常に緊張して、板書の仕方でも声の大きさも忘れてしまい、なかなか学生さんの顔を見ることができませんでした。そんな中、大ベテランの牧野さんがCクラスのサポートに入ってくださり、優しく見守ってくださいました。そのおかげで2日目からは感覚を取り戻し、ようやく学生さんのことをきちんと見るできるようになりました。



←写真2. ポスター発表の様子

8コマ中、5コマを文法+会話の練習、残り3コマを異文化活動として「ポスター作り」を行いました。学生ボランティアの橋本さんとゲストの方々にインタビューとポスター作成にご協力いただき、全員の「共同作業」にて素敵なポスターができあがりました。

日本や韓国で日本語を教えていた時には、日本企業への就職を目指す大学生が多かった為、とにかく「言語能力を伸ばす」ことこそ日本語教師の役割だと思っていました。しかし、ハンガリーに来て、その考えはゴロリと変わりました。日本語学習が「語学習得」だけではない意味を持ち、彼らを変化させる大きな可能性になっていると感じます。

特にキャンプは、いろいろな人に会い、互いに心を開き、多くの感動と思い出がうまれる場所。そんなキャンプの場で、いい汗を流すことができ、とても幸せでした。

日本語キャンプ2010実行委員会の皆様、本当にありがとうございました!

MJOTの開発教材が5種類6冊になりました。今回はこのページを使い、現在販売している教材をお知らせします。間もなく始まる新学期からの授業にお役立てください。(運営委員会)

MJOT開発教材『柿シリーズ』一覧

教材 表紙	「教材名」 発行年月日、その他	販売価格 (MJOT 会員価格)
	「初級日本語・ハンガリー語 語彙集」 “Japán-magyar szógyűjtemény kezdőknek” 2006年3月発行 第3版 初級日本語学習者用 (初級ハンガリー語学習者にも役立つ)	1,500Ft. (1,200Ft.)
	「初級ハンガリー語・日本語 語彙集」 “Magyar-japán szógyűjtemény kezdőknek” 2006年11月発行 第2版 初級日本語学習者用 (初級ハンガリー語学習者にも役立つ)	1,500Ft. (1,200Ft.)
	「日本語中級問題集」 “JAPÁN NYELV emelt szintű érettségi és közép fokú nyelvvizsga feladatgyűjtemény” 2009年9月発行 CD 2枚付き 大学入学資格試験日本語中級受験者用 (日本語能力試験N4の学習にも役立つ)	2,980Ft. (2,500Ft.)
	「日本語初級問題集」 “JAPÁN NYELV középszintű érettségi és alap fokú nyelvvizsga feladatgyűjtemény” 2009年9月発行 CD 2枚付き 大学入学資格試験日本語初級受験者用 (日本語能力試験N5の学習にも役立つ)	2,980Ft. (2,500Ft.)
	「平仮名・片仮名練習帳」(カラー版) “HIRAGANA ÉS KATAKANA japán írás munkafüzet”	1,500Ft. (1,200Ft.)
	「平仮名・片仮名練習帳」(白黒版) “HIRAGANA ÉS KATAKANA japán írás munkafüzet” 2010年6月発行 A4サイズ	900Ft. (700Ft.)

※ご注文は mjot49@gmail.com または ☎06-30-555-6397(Kiss)まで!

運営委員会から

①以下の MJOT 備品があります。所属の教育機関等で「日本の日」などを開催する場合、無料で貸し出ししますので、ご利用下さい。

- 1) 扇風機：1 台
- 2) CD プレーヤー：1 台
- 3) コルク綴じ機 (spirálozógép)：1 台
- 4) 巻す (のり巻きのすだれ)：8 枚
- 5) まな板：4 枚
- 6) 一升炊き電気炊飯器：1 台
- 7) プラスチック製ボール：4 つ
(ご飯と寿司酢の混ぜ合わせ用)

1)・2) はクリスティナさんへ、それ以外は後藤へメールでご連絡下さい。

クリスティナ: horvath.krisztina@chello.hu
ゴトウ: goto234@hotmail.com

②第 11 回言語パレード

日時：2010 年 9 月 3 日 (金)～5 日 (日)
10:00～18:00

場所：Millenáris B csarnok

1024 Budapest, Kis Rókus u. 16-20.

今回は JFB・もみじ・MJOT の三者共催でブースを出します。ブースでは JFB ともみじの日本語講座宣伝、MJOT 開発教材の販売をします。また、わずかですが日本雑貨の販売他、浴衣の試着、書道・折り紙の体験コーナーもあります。生徒さんと一緒にお越し下さい！
詳細は <http://www.nyelvp parade.hu/>

日本語キャンプ実行委員会から

去る 7 月 12 日 (月)～16 日 (金)まで、法門仏教大学を会場に第二回目の日本語キャンプを実施しました。今年はクロアチアやイタリアからも参加があり、前回より 12 名も多い 39 名 (文化体験のみ 1 名、授業のみ 2 名を含む) の参加者を迎えて行われました。

気温 35 度を超える酷暑続きでしたが、怪我人や病人を出すこともなく、参加者は日本語をたくさん学び、日本文化を体験し、国境を越えた交流をして、楽しんでもらえました。

今回のキャンプ参加者募集でも会員皆様のご協力がいただけましたことに深く感謝いたします。来年も 7 月に開催予定です。会員皆様の更なるご協力をよろしくお願い申し上げます。



「開会式」



「スイカ割り」

スピコン実行委員会から

第 18 回日本語スピーチコンテスト

日時：2011 年 3 月 19 日 (土曜日)
13 時～17 時 (仮)

場所：未定

原稿締め切り：2 月 1 日ごろ

出場者決定：2 月 10 日ごろ

(応募者多数の場合)

その他：11～12 月ごろ、正式な応募要項などを公表する予定です。今年度のスピコンに関するお問い合わせは内川まで (kazumi812@gmail.com) お願いします。



MJOT 会報 第 19 号

発行：2010 年 8 月

発行人：ハンガリー日本語教師会

編集：後藤史与